

2010年度

科目名	創作ⅡB		
担当教員	佐藤 愛弓		
配当	日文3	コード	54160
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	はじめての短歌		
目的と概要	私たちは日々いろいろなことを、感じたり、考えたりしている。書かなければ自分でも忘れてしまうような日々の思いを、携帯電話などを使って短歌にする若い人たちが今、増えている。短歌は、三十一文字で気持ちを表現するという文芸であり、字数以外にはルールはない。この授業では、短歌を使って自分の気持ちを自由に表現することを習得する。		
成績評価法	平常点(50%)と、期末レポートの成績(50%)により総合的に評価する。 (授業の3分の1以上欠席した者には単位を認めない)		
テキスト	なし		
参考書	なし		
履修に当たっての注意・助言	毎年まったくはじめて短歌を作る人ばかりで授業をはじめますが、期末には良い作品がたくさんできています。それぞれが授業を楽しめるように、積極的に参加してください。		
講義計画			
<p>毎回前半は、良い短歌、面白い短歌を紹介して、解説する。</p> <p>例  観覧車回れよ回れ想ひ出は君には一日(ひとひ)我には一生(ひとよ) (栗木京子)  ぼろぼろの地図・磁石・水・不可能の文字のない辞書・密入り林檎 (穂村弘)  綿菓子へザラメが変わる力学を明日の私へ向けて応用 (天野慶)  あなたへの手紙を書いて引き出しにしまってそのまま忘れるつもり (加藤千恵)  いっどこで誰といたってあたしだけ2センチくらい浮いてる気がする (加藤千恵)</p> <p>後半は、それぞれが作ってきた短歌を無記名でプリントにして読み、コメントしあう。</p> <p>期末に作った短歌を集め、連作にして提出し、共同歌集を制作する。</p> <p>第1回 オリエンテーション  第2回 短歌紹介・実作  第3回 短歌紹介・実作  第4回 短歌紹介・実作  第5回 短歌紹介・実作  第6回 短歌紹介・実作  第7回 短歌紹介・実作  第8回 短歌紹介・実作  第9回 短歌紹介・実作  第10回 短歌紹介・実作  第11回 短歌紹介・実作  第12回 短歌紹介・実作  第13回 短歌紹介・実作  第14回 前期・後期連作提出  第15回 共同歌集配布及び総評</p>			